

<東アジアにおける知の交流>国際研究フォーラム（案）

主催：文藻外語大学日本語文系

時間：2016年5月21日(土)9:00AM-17:00PM

会場：文藻外語大学

時間	プログラム	会場
8:30-9:00	受付	文藻外語大学 國璽會議廳至善樓 15F
9:00-9:10	開会式 周守民（文藻外語大学校長）、今西淳子（渥美財団常務理事）	國璽會議廳至善樓 15F
9:10-10:40	基調講演1 西成彦（立命館大学教授） 「元日本兵の帰郷」 司会者 林淑丹（文藻外語大学日本語文系教授・学科主任） 基調講演2 東山彰良（作家） 「台湾で生まれ、日本で書く」 司会者 范淑文（台湾大学日本語文学系教授・学科主任）	國璽會議廳至善樓 15F
10:40-11:00	休憩	
11:00-12:00	研究フォーラム テーマ「越境・記憶・共生に向けた知の交流」 司会者 林立萍（台湾大学日本語文学系教授、日本研究中心・副主任） パネリスト 西成彦（立命館大学教授） 土屋勝彦（名古屋学院大学教授） フェイ・阮・クリーマン（コロラド大学ボルダー校教授） 呉光輝（廈門大学日本語文系教授・学科主任）	國璽會議廳至善樓 15F
12:00-13:20	昼食（記念撮影）	至善樓 15F
13:30-15:10	論文発表（発表20分、討論5分）	至善樓 12～13F 會議室

	文学		言語・教育		歴史・文化	
	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E	会場 F
	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター
	①発表者：林淑丹 (文藻外語大学教授) テーマ：生命と共同体の記憶—『檀山節考』の世界	⑥発表者：黄意雯 (文藻外語大学副教授) テーマ：銀鈴会の会誌から跨時代作家が如何に「越える」かを見る	⑫発表者：岩男考哲 (信州大学准教授) 仲潔(岐阜大学准教授) テーマ：生徒たちが教科書で触れる「異文化間交流」	⑮発表者：董莊敬 (文藻外語大学副教授) テーマ：日本の政策文書におけるキャリア教育の言説	⑳発表者：李婉蓉 (文藻外語大学助理教授) テーマ：戦争責任再論—記憶的忘卻、喚起與重建	㉑発表者：坂井洋 (国立台中科技大学兼任講師/静宜大学兼任講師) テーマ：植村正久の思想と蔡培火—伝道対象としての台湾人
	②発表者：頼衍宏 (銘伝大学副教授) テーマ：長屋王の変と『南齊書』	⑦発表者：倉本知明 (文藻外語大学助理教授) テーマ：越境するディストピア—ポスト・フクシマにおける台湾の原発小説	⑬発表者：頼美麗 (文藻外語大学助理教授) テーマ：オーラルテキストにルーブリックを導入する試み	⑰発表者：戴秋娟 (中国北京外国語大学副教授/日本朝日大学准教授) テーマ：中国から日本へ：中日両国間の高度人材の流動に関する考察	㉒発表者：李克揚 (文藻外語大学助理教授) テーマ：外國大權著眼福爾摩沙——探討台灣成為德國亞洲殖民目標之始末	㉓発表者：金英美 (法政大学ポスドク) テーマ：韓国における基督教系大学の社会問題に対する活動
	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター

	<p>③発表者：解璞 （北京大学助理教授） テーマ：中国現代小品 文学と明治文 学—水野葉舟 『響』を中心 に</p> <p>④発表者：劉妍 （北京外語大学講師） テーマ：雑誌『改造』 と中国—横光 利一『上海』 を通して</p>	<p>⑧発表者：石川隆男 （台湾大学講師） テーマ：張文環文学 にみる保存 的記憶— 『山茶花』 を例として</p> <p>⑨発表者：謝恵貞 （文藻外語大学専案 助理教授） テーマ：越境するノ スタルジア —東山彰良 『流』にお けるアウト ロー像を通 して</p>	<p>⑭発表者：方斐麗 （文藻外語大学助理 教授） テーマ：日本語副詞 「きっと」 と「必ず」 の文法機能 に関する研 究</p> <p>⑮発表者：林琪禎 （文藻外語大学兼任 助理教授） テーマ：東アジアに おける知の 交流：授業 実践報告— 初級日本語 学習者に対 する「自他 動詞」の指 導について—</p>	<p>⑯発表者：小高裕次 （文藻外語大学助理 教授） テーマ：台湾で販売 されている 初学者用日 本語教材に おける日本 語発音の記 述について</p> <p>⑰発表者：樋口康一 （愛媛大学教授） 小林陽子（愛媛大 学大学院生） テーマ：漢語と日本 語・モンゴ ル語：言語 接触とそれ がもたらした 言語変化 の対照研究</p>	<p>⑳発表者：黄馨儀 （中国文化大学助理 教授） テーマ：NHK 朝の連続 テレビ小説 の台湾受 容：『あま ちゃん』の インタビュー —調査を中 心に</p> <p>㉑発表者：陳建源 （国立中興大学助理 教授） テーマ：東亞大眾觀 光裡の多元 文化實踐： 從士林官邸 與蔣宋家族 故事談起</p>	<p>㉒発表者：李守愛 （義守大学副教授） テーマ：日本と台湾 における 「祭奠」儀 式の伝承と 現代的な発 展について</p> <p>㉓発表者：曾齡儀 （中央研究院台湾史 研究所ポスドク） テーマ：宇治茶和台 灣烏龍茶：三好徳三 郎與日台間的茶交流</p>
15：10-15：30	休憩					
15：30-16：45	文学		言語・教育		歴史・文化	
	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E	会場 F
	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター

	<p>⑤発表者：劉文娟 （青島科技大学講師） テーマ：川端康成「五拾錢銀貨」論</p>	<p>⑩発表者：李瑩瑩 （広州大学講師） テーマ：上代変体漢文における漢文助辞の破格と受容について——「矣」字を例として</p>	<p>⑯発表者：張汝秀 （文藻外語大学助理教授） テーマ：日本語会話授業のコース・デザイン——文藻外語大学日本語文系の会話授業を例として</p>	<p>⑳発表者：陳淑瑩 （文藻外語大学助理教授） テーマ：日本統治下における台湾原住民の歴史教育-「尊王論」を中心に</p>	<p>㉔発表者：鄧麗霞 （立命館大学博士課程） テーマ：大東亞電影”的演繹與破綻—以《支那之夜》與《莎韻之鐘》為中心</p>	<p>㉘発表者：蔡承豪 （国立故宫博物院副研究员） テーマ：流動、調査與詮釋：文溯閣四庫全書與「臺灣」</p>
		<p>⑪発表者：蕭怡姍 （国立政治大学博士課程/国立中興大學通識教育中心兼任講師） テーマ：南島・趣味・旅行日治時期《台灣日日新報》國島水馬台灣行旅圖文—以《納涼八景》、《納涼八計》為例</p>	<p>⑰発表者：久保田佐和子 （文藻外語大学講師） テーマ：横断的に見た文藻外語大学日本語学習者の発話習得状況—アーティキュレーションを考慮点として—</p>	<p>㉓発表者：石川清彦 （国立屏東大学講師） テーマ：日本語ディベートへの批判的考察</p>	<p>㉕発表者：野口真広 （早稲田大学次席研究员） テーマ：植民地台湾と自治—自律的空間への意思—</p>	<p>㉙発表者：番匠健一 （立命館大学生存学センター研究员） テーマ：日本統治期台湾における「植民論」と Settler Colonialism：後藤新平と高岡熊雄の關係に着目して</p>
		日本語教育実践報告				
16：50-17：00	閉会式					國璽會議廳至善樓 15F

日本語教育実践報告 会場	発表者：黄思璋	テーマ：台湾における日本語のアクセント句の学習についての一考察
	発表者：趙英美	テーマ：The relationships between the Korean wave and Korean language learning in Taiwan.
	発表者：郭雅芬	テーマ：反転授業の試み—文藻外語大学専科部二年生の“日本語二”での試み
	発表者：童鳳環	テーマ：「暗誦」が第二言語習得における位置づけについて—文藻外語大学専科部一年生を対象に—
	発表者：蔡燕昭	テーマ：遠距課程製作の問題點—以文藻進修部日文一(上)課程為例—
	発表者：遲秀蘭	テーマ：情境教學法在日語教學之應用—以初級日語會話課程為例—
	発表者：陳貞雯	テーマ：提升學生課室專注力之教學實驗—以初級日語文法課程為例—